

都道府県名：三重県	市町村名：四日市市
<p>1. 活動名 まちな木こり人育成講座と森林再生</p>	
<p>2. 取組の背景、目的 昭和 20 年代から 40 年代に植林された森林は、材木価格の低迷に林業従事者の激減が重なり、荒廃した状態になっています。また、森林所有者も都市部での生活が進み、森林の境界も不明となりつつあります。この現状を打開し、自然な環境を守るため、NPO 法人「森林の風（もりのかぜ）」を設立し、活動を開始しました。活動のための人材として林業就業を目指す人や、植樹して森を育てる活動を始めたい人等をターゲットに講習会を開催して人材を育成し、活動資金と賃金の確保できる道を求めることとしました。</p>	
<p>3. 実施主体 森林の風（もりのかぜ） 【HP アドレス（常時更新）】 http://www.morinokaze.info/index.html</p>	
<p>4. 取組の概要 森林所有者、及び森林組合や行政からの委託事業として、間伐・植樹・枝打ち等の森林保全活動を行っています。 また、「まちな木こり人育成講座」と称した森林講座を年 15 回以上開催している。会員の技術や知識向上と森林再生を目指す人材獲得のためのもので、毎年参加者は多数に上ります。 加えて、荒廃した人工林を健全な森林に再生することを目的に「水源の森プログラム 光土水風」と称し、森林を測量し、その結果をもとに枝打ち、間伐などの森林施業を行う一連のシステムを小冊子にまとめ、啓発・研修を行っています。</p>	
<p>5. 支援事業 三重県による、里地里山保全活動促進事業</p>	
<p>6. 取組等についての成果や課題 地元森林組合との共同活動、鈴鹿森林組合との提携を図っています。 また、「水源の森を守る活動」をアピールして、地域住民と友好関係を築くことで、住民の協力体制が進んでいます。 林業体験や講習会を、参加者を募りながら開催する中で、修了者から複数人の林業従事者が生まれています。 会員 1 名あたり年間 1ha の森林再生を目指します。</p>	



「間伐」
杉やヒノキを間引く様子です。



「植樹」
急斜面にヒノキの苗を植えている様子
です。



「まちの木こり人育成講座」
大径木の伐倒に臨む受講者の様子です。



「森林再生への入門書」
森林再生を志す人の入門編として3種類
の冊子を作成しています。この冊子に関
する問い合わせを受け付けています。